

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

生活環境に潜む微量な危険物から解放された安全・安心・快適なまちの実現

3. 研究開発課題名

大気中のインフルエンザウイルスを無力化する革新的感染予防システムの開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

一三三 恵美(大分大学 研究マネジメント機構 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、抗体酵素を用いて大気中のウイルスを無力化するという新しい視点に立つ感染予防システムの実現を目指すものである。

探索研究期間では、変異導入による酵素活性の発現を明らかにし、インフルエンザウイルスの外殻タンパク質であるヘマグルチニンの特定領域を標的としてその機能を消失させたことを評価する。

また、マウス型モノクローナル抗体に対して適用可能な技術であることから、抗体酵素の効率的な作製への道筋が明らかになるなど、優れた成果が認められた。

今後は、様々な感染予防ツールへの応用に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上